

うちの学校

紹介しまあ!

その25 大町小学校



わたしたちは、たくさん「素敵」に囲まれて学校生活を送っています。それを少し紹介します。

【友だちが素敵】

大町小学校では、全校生で『キラキラ☆がいい』という「いいところ見つけ」に取り組んでいます。友だちのいいところを見つけて、カードに書いて、全校生が見られるように一階廊下に掲示しています。一学期は、263枚も「いいところ」を見つけました。友だちに褒められると嬉しいし、



友だちを褒めると心が温かくなります。これからも続けていきたい活動です。

また、六年生が毎日交代で校門前に立ち、「あいさつ運動」をしています。朝から、気持ちのよい挨拶が大町小学校に響き渡っています。元気に一日が過ごせそうな気持ちになり、毎日いいスタートが切れています。

【地域が素敵】

大町地区は、学校を大切に考えてくれて、運動会や様々な教育活動に積極的に関わってくれます。特に、生活科や総合的な学習の時間では、「地域」をテーマにしていることもあり、地域の方々はとて



も協力的です。田植えや稲刈り、町探検。学校から出れば、地域の方々がいつも明るく声をかけてくれます。

また、四年生以上はクラブ活動でもお世話になっています。「地域学習・工作」「スポーツ」「囲碁ボール」「グラウンドゴルフ」「書道」の五つのクラブを指導してくださるのは、地域の方々です。今はコロナ禍で一緒に活動するのは難しいですが、

きつと近いうちに学校や地域で活動できる日が来ると信じています。

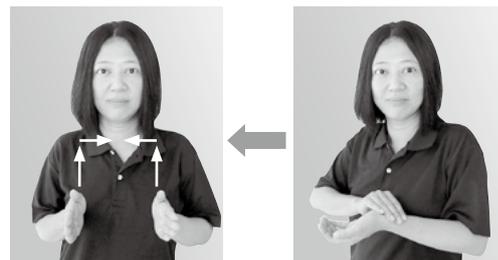
大町小学校には、まだまだ「素敵」などところがたくさんあります。これからも、一つ一つの「素敵」を大切にしながら、素敵で溢れる大町小学校、大町地区にしていきたいです。

ぽわんと 手話 !!

第53回

手話は、ろうあ者が日常使用しているコミュニケーションの方法です。このコーナーでは、手話や、ろうあ者の生活等を紹介いたします。

「病院」



- ① 左手首に右手の指先を当てる。
- ② 両手のひらを向かい合わせて上にあげ、閉じる。

ろうあ者の日常生活を知ろう②

ちようかくしやうがじや

聴覚障害者が社会に参加するときには音声語を手話にかえ、あるいは手話を音声語にかえる役割の担い手が手話通訳者です。病院での診察などの一対一の場面、会議や集会などの場面、テレビ放送など、聴覚障害者のくらしの中のコミュニケーションのさまざまな場面で手話通訳者が業務をおこなっています。手話通訳者は、聴覚障害者の社会参加と自己決定の保障に欠かせない役割を担っています。

協力：淡路聴覚障害者協会 手話サークル津名